

がん免疫と免疫制御

ベーリンガーインゲルハイムは、がんと自己免疫疾患の両方に対する新規治療薬の創製に向けて、免疫機序の本質的な理解に焦点を当てています。私たちは国際的科学コミュニティーや世界トップレベルのがん研究施設と密に連携し、免疫学者、がん生物学者、抗体の専門家と密接に協力してこの課題(目標)に取り組んでいます。

パートナーリングのフォーカス

私たちは、新たな標的同定の機会、初期創薬コンセプト、そして探索初期から前臨床後期の抗体及び化合物を求めています。

- 制御性T細胞のみならずマクロファージや骨髄系細胞を標的とした新たな免疫制御チェックポイント
- がんワクチンと腫瘍溶解性ウイルス、特にウイルスベクターワクチン
- 腫瘍特異的MHC-ペプチド提示など、当社のT cell engagerプラットフォームに用いる新たな腫瘍抗原
- モノクローナル抗体産生・工業化の改良技術、及び多重特異的抗体プラットフォーム技術

対象外:

- 細胞療法または細胞ベースワクチン、新抗原の探索、抗体薬物複合体。

新薬の研究開発を通じて世界中の人々の健康改善を目指すという私たちの目標を共有して頂けませんか

**Working together
for better health**

PC Aug. 2017

詳細は下の担当者までお問い合わせください

ベーリンガーインゲルハイムジャパン株式会社
事業開発&ライセンス部

河野 剛志 (ライセンスマネージャー)

〒141-6017

東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower

Tel: 03-6417-2350

E-mail: takeshi.kono@boehringer-ingelheim.com

URL: <<https://www.boehringer-ingelheim.jp/イノベーション/研究開発オープンイノベーション>>

